

要 望 活 動 全 体 報 告 書

実 施 日	令和7年6月11日（水）
要 望 者	郵送により要望書を提出しました。
要 望 先	○ 総務大臣、農林水産大臣、財務大臣
要 望 事 項	○ 豪雪による農業被害に関する緊急要望

緊 急 要 望 書



会津総合開発協議会

【構成市町村】

会津若松市

猪苗代町

三島町

喜多方市

北塩原村

金山町

下郷町

西会津町

昭和村

檜枝岐村

会津坂下町

会津美里町

只見町

湯川村

南会津町

磐梯町

柳津町

表紙の「」は昭和 47 年公募により制定された会津総合開発協議会のシンボルマークです。

会津総合開発協議会は、誇りうる郷土会津の輝ける明日を拓くため、「会津はひとつ」の理念のもと、昭和 38 年に当時の全会津 28 市町村が集結し結成した団体です。これからも、郷土愛と地域開発へのあふれる情熱、そして各市町村の強固な結束力を糧として、郷土の発展を願い活動してまいります。

豪雪による農業被害に関する緊急要望

会津地方は、令和7年1月からの記録的な豪雪による被害が甚大かつ広範囲に及び、住民生活に多大な影響が生じたところであります。

特に、会津地域の基幹産業である農業におきましては、イチゴ栽培や水稻育苗用ハウスの倒壊、果樹の樹体の折損などに加え、農業資材や農機具を保管する施設にも被害が生じるなど、営農に多大な影響が及んでおります。

こうした中、現在、農業者の営農継続や産地の維持を図るため、県と市町村が連携し、農産物の生産に必要な施設の復旧等の経費を支援することとし、被災したパイプハウスについても撤去及び復旧を支援することとなりました。

しかしながら、農業資材や農機具を保管するパイプハウスについては、その位置づけ等から支援の対象外とせざるを得ず、これらに被害のあった農業者においては農作業への支障や費用負担などの課題が生じており、また、今回実施する支援事業は多額の費用を要するため、厳しい財政状況に置かれている会津地域の市町村にとっても大きな負担となるところであります。

つきましては、農業者の営農継続や産地の維持を図るとともに、地方財政の安定化を図るため、下記の事項について、特段のご高配を賜りますよう緊急に要望いたします。

記

- 1 農産物の生産に不可欠な農業資材や大型の農業用機械の保管について、パイプハウスを利用している農業者が多い現状を踏まえ、国において、被災時に復旧支援の対象となるよう保管施設に関する考え方等を再構築すること。
- 2 今後も豪雪による農業用施設等への被害が想定されることから、その復旧にあたって市町村が十分かつ柔軟な支援を行うことができるよう、地方負担を特別交付税の対象とするなど国による財政措置を講じること。

令和7年6月11日

会津総合開発協議会

会長 会津若松市長 室井 照平

会津総合開発協議会 会員名簿

(市町村長)

会津若松市長	室 井 照 平
喜多方市長	遠 藤 忠 一
下郷町長	星 學
檜枝岐村長	平 野 信 之
只見町長	渡 部 勇 夫
磐梯町長	佐 藤 淳 一
猪苗代町長	二 瓶 盛 一
北塩原村長	遠 藤 和 夫
西会津町長	薄 友 喜
会津坂下町長	古 川 庄 平
湯川村長	佐 野 盛 至
柳津町長	小 林 功
三島町長	矢 澤 源 成
金山町長	押 部 源二郎
昭和村長	舟 木 幸 一
会津美里町長	杉 山 純 一
南会津町長	渡 部 正 義

(市町村議会議長)

会津若松市議会議長	清 川 雅 史
喜多方市議会議長	伊 藤 弘 明
下郷町議会議長	湯 田 健 二
檜枝岐村議会議長	星 浩 彦
只見町議会議長	佐 藤 孝 義
磐梯町議会議長	鈴 木 久 一
猪苗代町議会議長	後 藤 公 男
北塩原村議会議長	五十嵐 善 清
西会津町議会議長	伊 藤 一 男
会津坂下町議会議長	赤 城 大 地
湯川村議会議長	高 倉 好 博
柳津町議会議長	齋 藤 正 志
三島町議会議長	二 瓶 俊 浩
金山町議会議長	五ノ井 義 一
昭和村議会議長	渡 部 節 雄
会津美里町議会議長	大 竹 惣
南会津町議会議長	山 内 政